http://www.jaaso.or.jp/



JAあそだより

平成25年10月



阿蘇市内牧方面から「阿蘇山」を望む



- ●各生産部会の生育・出荷状況
- ●2013年産米初検査・阿蘇コシヒカリ出発式
- ●小国郷畜産共進会、各地域で盛んな女性部の活動!
- ●JA阿蘇学童わんぱく野球、

まるごとあそっ子キャンプファイヤー ほか「JA阿蘇の話題」満載!



• / 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5 TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

| 一回蘇南部地区||前年比120%を出荷する||阿蘇トマト」最盛期には

JA阿蘇南部地区では8月初め「阿蘇トマト」の出荷が最盛期を迎えました。生産者のハウスでは 早朝から収穫作業が行われました。 早朝から収穫作業が行われました。 中心に中国地方まで出荷し、日量 中心に中国地方まで出荷し、日量 としては前年比120%を記録し ました。

負けていない」と生育状況を語っれたが、品質・肥大ともに例年に「梅雨時期の曇天で生育が心配さい会員の選別会長の渡辺和徳さんは、

ていました。南部地区では生産者 72人が22ねで栽培を行っており、 全生産者が作付け前には土壌分析 で圃場肥料成分の過不足を数字で で圃場肥料成分の過不足を数字で り組んでいます。販売担当の安達 り組んでいます。販売担当の安達 けることが出来た」と話していま けることが出来た」と話していま

高まっています。 ・中一付き選果機を導入しており、 ・時一付き選果・規格均一化による高 ・関な選果・規格均一化による高 ・関係のでである。 ・カラーセン

渡辺和徳さん=8月1日撮影)(写真左=収穫作業をする



ナスの収穫を体験する参加者

日、ヒゴムラサキ収穫体験ツアー日、ヒゴムラサキ収穫体験ツアーを行いました。この体験ツアーは今年で4回目で、大手食品メーカー般応募で選ばれた熊本市内の親ー般応募で選ばれた熊本市内の親・当日は、同部会の三森伸治部会長のハウスで収穫体験が行われました。三森部会長は「出来るだけとを利用した害虫防除に心がけている。このように安全な農産物作いる。このように安全な農産物作いる。このように安全な農産物作

089

ラサキ作りをアピールしました。い」と話し、安全で安心なヒゴム裏切らないような農産物を届けた

消費者との交流を行う

=南部なす部会=

ヒゴムラサキの収穫体験ツアー

参加した親子は「こんなに大きいナスは見たことがない」と驚きながら収穫するのではなく、収穫のただ収穫するのではなく、収穫のただ収穫するのではなく、収穫のした。

ったカレー作りが行われました。でヒゴムラサキなど地元野菜を使収穫後は、同部会女性部の協力



地元の野菜を使って調理する参加者



えることで、

自分たちも消費者を

りに取り組んでいる姿を見てもら

















お盆に向け出荷が大好評だった



くないということから、 高く、 入源を確保できるということから く低コストで栽培でき、 25年産においては生産農家11戸、 取り入れられました。 内でも平坦部に近い地域であり、 ホオズキ栽培は、同地区がJA管 作付面積80aとなりました。この 始まり、 キの盆に向けての出荷で今夏も7 管内の山間部に比べ夏場の気温が 地区のホオズキ栽培は7年前より 8月に最盛期を迎えました。同 A阿蘇西原地区では、 施設野菜の生育があまり良 当初2人で始めた栽培も 夏場の収 暑さに強 ホオズ

題となりましたが、 の発生による商品価値の低下が問 入当初は、 害虫対策や玉飛び 害虫に関して

場評価も高い」と話していました。 年以上の玉つきとなっており、 作業では昨年までミツバチを使用 解消しつつあります。また、受粉 は定期的な防除を心がけることで で販売担当の副田慶太職員は ました。その結果、玉つきも良好 る受粉作業に生産者全員が変更し 上のためにクロマルハナバチによ していましたが、今年より効率向 例 市

ズキ栽培終了後の後作についても 検討しています。 入を確保することを目的に、ホオ に3万本を東京中心として関東方 へ出荷しました。今後も安定収 今夏は7月盆に1万本、8月盆

面

(写真右=出荷前のホオズキを 確認する担当職員=8月5日撮影)

8月下旬、苗の花芽分化を確認 適期定植で年内収量確保へ =南部いちご部会=



ご部会では2013 JA阿蘇南部

日

、部会員が居住する町村の保育所

年内収量を高めています。 年8月下旬定植を目標に他産地よ 準高冷地の気象条件を生かし、 りも早い時期に出荷することで、 化の確認をしました。同地区では を、担当指導員が顕微鏡で花芽分 地区で育苗された「紅ほっぺ」苗 的に行われています。当日、 月下旬から9月上旬にかけて本格 ました。同地区の1番花検鏡は8 日より1番花の花芽検鏡が始まり 年産イチゴの定植を前に、 8 月 20 蘇陽 毎

ていました。 ように指導していきたい」と述べ 植を最優先とし定植遅れが出ない 進み方は昨年並み。今後は適期定 後藤真智指導員は「花芽分化の

> で定植が行われ、 る担当職員と確認された花芽の分化) (写真上=顕微鏡で花芽分化を確認す は出荷が始まる予定です。 から定植が始まり、 同部会では山間部の蘇陽地 11月上旬から 9月20日ま 区

12保育所にトマトを贈る

A阿蘇南部トマト部会は8月21 =南部トマト部会=

す。このトマトを食べて大きく育って の住んでいる地域で出来たトマトで て、トマトを贈呈しました。 幼稚園に部会役員14人が手分けをし 園児に手渡しました。 園児たちは「ト ください」と挨拶し、トマトを代表の し箱詰めしたトマトを届け、「皆さん は、白水地区支部長3人が当日収穫 このうち南阿蘇村の白水保育園に

ていました。(写真は次のページに掲載) を知ってもらえればうれしい」と話し 子供たちに、少しでも地元産のトマト きました。担当職員も「将来を担う 地元保育所等へ食材の提供を行って ってほしい」という目的で、9年前より で、どんな野菜が出来ているのかを知 部会では「子供たちが住んでいる所

よくお礼の言葉を述べました。

マトありがとうございました」と元気

南部トマト部会、新鮮トマト贈る



マ トを受け取る白水保育園の

阿 園児たち=前ページ本文を参照) .蘇「白ネギ」 出荷始まる ~12月の安定収入を確保

||高森地区||

被害もなく昨年に負けない出来と 9月初旬から始まりました。 なっています。 旬に定植されたもので、 から出荷されているものは4月下 入3年目を迎える白ネギの収穫が、 阿蘇高森地区では今年で導 病害虫の 9 月

場の 転換品目として取り入れられ、 冷涼な気候を生かせる期待の の白ネギは、 葉たばこ廃作 夏

> もあります。 高森地区の露地野菜の中でも11月、 12月に安定収入が見込める品目で 目 1です。 また、 耐寒性もあ ŋ

> > おいしい阿蘇の野菜はいかが!

女性部が料理振る舞い朝市開催

『まるごと熊本.n阿蘇』

は 年 年 と語り、担当の工藤剛指導員は「今 とで病害虫の発生は少なくなる 3人(前年同)で、作付面積14 作業が一番大変。 1170万円を見込んでいます。 同 た」と販売に期待していました。 は 2013年産については生産者 生産者の住吉義隆さんは 例年に負けない品質に仕上が 雨 が少なくやや太りが悪い 出荷数量35 t、 でも除草するこ 販売金額 「除草 ha (前



蘇 が 日 おうと9月3・4 企 阿 にJA阿蘇女性部が協賛。 ·蘇復興 画 阿蘇プラザホ した 0 まるごと熊本in 役に買っても Ą テ 株農協観光 ル宿泊客 3 阿



生産者と生育状況について話す担当職員(8月27日撮影)



写真左上・下=JA阿蘇女性部の朝 市に多くの宿泊客らが新鮮野菜を求 め押し寄せた



写真右上=「だご汁」や「な すのひこずり」コ ーナー 宿泊客の行列ができた。写真 右下=大好評だった「なすの ひこずり」

部が作 ずり 約 2 とってもおいしかった」と笑顔 朝市を開催。 よかったです。なすのひこずりも がどれも新鮮でいっぱい買えて 部 求めました。 が 4日早朝は同ホテルで女性部 や自 阿 1 が振る った新鮮野菜や加工を買 蘇 0 慢 0) 人 0) 野 0 多くの宿泊者が女性 舞 菜 夕 宿泊客らは 品 で作 食 われました。 0) なす った 部に 0) 「だご ひこ 野菜 女性 ま

話していました。

中部地区 10 南部地区 上旬から出荷 阿蘇のイ

販売高4億円を見込む

品種構成「紅ほつペ」約3割

「さがほのか」約7割

南部いちご部会

中部地区いちご

年は例年にない猛暑の影響で花芽分 3年産イチゴの定植が県下トップを ぼ例年どおりの定植となりました。 化が遅れる懸念がありましたが、 切り8月28日から始まりました。 JA阿蘇中部地区管内では、 管内では育苗期の高温により、 20 病害

くなり、 り生育の停滞でランナーの発生が遅 指導により順調に採苗でききました。 の発生が多く、梅雨の曇天の影響もあ 台風の影響があり、定植の準備等の 「例年と変わらない分化スピードだが、 指導員の江藤秀晃職員は8月下旬、 生産者の肥培管理、 定植苗の不足が心配されま 対策を周 J A の

年比 底していく」と話していました。 知しており、今後も活着の指導を徹 遅れが懸念されましたが、 中部地区の作付け面積は、9.ha 98 % , 生産者43人、 販売高は (前

4 定植作業をする生産者/8月 29日撮影) を重点に行われる予定です。 定され、出荷先は主に関西地方市場 出荷は早い作で10月20日頃より予 (前年同) を見込んでいます。 (写真上=

活性低下などが見られましたが、

昨

猛暑の日々が続いたことで根の

区で「紅ほっぺ」の定植が行われ、 8月中旬以降に気温低下がみられ、 ではないかと懸念されていましたが、 同定植作業が始まり、 月27日より2013年産イチゴの共 昨年並みの定植時期となりました。 日中の気温が高かったので遅れるの 定植しました。花芽分化については、 順調に生育した苗を生産者が共同で JA阿蘇南部いちご部会では、 今年は梅雨明けは早かったもの 当日は蘇陽地 8

> 呼びかけていました。 的にして9月20日までの定植終了を して頂きたい」と、年内の株作り目 生産者に潅水管理や肥培管理を徹底 真智指導員は定植が始まった8月下 月15日頃ピークを迎えました。 年に負けない苗の出来となっていま 「定植後14日間は重点期間として 各地区で定植が進み9 後藤

ほのか」68%となっています。 品種構成は「紅ほっぺ」32%、 年比83%)、栽培面積3.3 ha (同9%)で、 2013年産の生産者数は15人(前 出荷開始は11月上旬の見込みです。 (写真右上=共同作業により 定植をする生産者=8月28日撮影) 「さが

◆◆ 地域ナウ ◆◆▲

地域農業の現状・実態を学び 農業の発展を共に考えよう!」

農学部学生が援農活動

ジセンタープロジェクト」の一つで、 コミュニティープロジェクト」とし を培う場として設置した「チャレ える力・集い力・挑み力・成し遂げ力 クトは学生に社会的実践力 前より実施しています。同プロジェ の援農活動(ボランティア)を5 同大阿蘇キャンパス近隣農家 海大農学部の学生が 「阿蘇援農 (自ら考



写真上=アスパラの収穫をする学生 写真右=受け入れ農家の藤原さんと援農活動 に参加した学生たち



いました。 お互いにいい刺激になる」と話して 農家の一人である藤原孝誠さんは「農 阿蘇村の5戸の農家に入り、 8月21日~27日にかけて約10人が南 80人)で構成されています。 自主企画で運営。1~3年次生 授業やサークル活動とは違い学生 を受け入れることで学ぶことも多い。 家も労力を雇用することがあり、 などの援農活動を行いました。 農作業 今年は (約

と作・全量1等祈願祭」と

-阿蘇市山田倉庫前=



参加し 30 kg 培米 伏が多く品質低下の心配があったが、 した。 ました。 山田倉庫前で関係者ら約100人が -2013年産米初検査_ 全量1等米と検査期間中の安全を 「コシヒカリ」625袋(1袋 当日は主用品種の阿蘇特別栽 が検査され、全量1等となり JA阿蘇は9月9日、 「豊作・全量1等祈願祭」と 営農部の田上稔課長は「倒 を行いま 阿蘇市

た。 まずは全量1等で安心しまし た。今後も上位等級を期待して います」と感想を述べていまし

め関係者ら約70人が参加しま ベーターであり、 方、 は 「阿蘇のおいし 式典冒頭に工藤保雄組 阿蘇町カントリー 「阿蘇コシヒカリ出 生産者をはじ い水で育っ エレ オコシヒカリ出発式

小国郷でも2013年産米初 =小国町切原米倉庫前= 883袋全量が1等

倉庫前で2013年産米初検査が 約20人が出席し、 郷もみすり部会員・JA関係者ら **月25日、** 農産物検査員・ 小国町の切原米 小国

れたい」と挨拶。 に自信を持って出荷できることを喜 リ」360袋(1袋30㎏)を乗せた プカット後、 材料として米の販売にさらに力を入 けたことを誇りに、これらを明るい たコシヒカリを全国の消費者の皆様 ラックを見送りました。 また、世界農業遺産の認定を受 初出荷の「コシヒカ 関係者によるテー

様子、写真左=出発式でのテープカッ(写真右上=全量1等米を願う祈願祭の トと新米を乗せ出発するトラック)

<u>Ŀ</u>

黒渕







行われ、 りました。 883袋全量が1等とな

は 収穫が早いが、 部会の安武聖会長の挨拶があり、 でした。 ただき」591袋(加工用米含む は「コシヒカリ」292袋、 続いて検査が行われました。 乗」と感想を語っていました。 開始にあたり、 「例年より1週間ほど全体的に 宮﨑智和検査員(写真右) 虫害もなく品質は 小国郷もみすり

|毛種牛41頭が出品「小国郷畜産共進





写真上=小国郷畜産共進会会場の様子 写真下=審査員 15 人によって行われた審査の様子 ※次のページにも関連写真を掲載しています。

4 部 達徳・ 毛和種育成牛」 格など厳正な審査が行われました。 6部門に分かれて発育や体格、 内から褐毛・黒毛種牛41頭が出品。 国郷畜産共進会が開かれ、 6部「肥育牛」=金景(市原秀英 めごの5 子牛」=かつゆり 宏文·赤馬場)、3部「黒毛和種 9月10日、 各部門の名誉賞は次のとおりです。 (宮崎雄矢・ たまひめ☆(宮崎雄矢・下城) 黒毛和種育成牛」 П 満願寺)・みつひめ 「褐毛和種子牛」 あそ2 (原山貢·宮原)、5部 平成25年度JA阿蘇 =さちなみ 下城)、 (穴井 (原山貢・宮原)、 =まいひ 秀憲・ 2 部 =はるひ 小国 (加藤 (井野 郷管 褐

リは気候による影響で開花の

前進

(写真下=生育の状況を

確認する担当職員=9月18日撮影)

に使用されています。

化などが発生しにくく、

計画出

栽培面

積は

で続けられました。

IJ

今季の出荷は最終的には6万本

と見込まれており、

冠婚葬祭全般

出荷が九州管内市場へ10月中

JA阿蘇野尻地区では、

ユ

リの 一旬ま ユ

7

高品質の野尻地区「ユリ」

荷

冠婚葬祭全般に高い市場評価

雄さん

人です。 40 a

瀬井さんは 生産者は瀬井美 同地区の

コ

小国郷畜産共進会

が

(本文は前ページに掲載)

3部名誉賞「かつゆり」

2部名誉賞「さちなみ」





「DoYou のうぎょう?」 小国郷大根部会=佐藤由孝さんを取材

待していました。 厚く売れ筋商品となっており、 害も病害虫被害も見られず安定出 を始めました。 尻地区はユリの重要な産地となっ の結果、 いる も大事」と話しています。 出 して頂き、 このような瀬井さんの取り のは温度と水管理、そして土作 来ると考え約20年前より栽培 :場担当者は 出荷市場からの評価は高 買参人からの信頼も 今後の作付増加に期 栽培する上で難し 「例年、 生 理障 組 野 Z

た。

佐藤さんは

一栄養たっぷりで

日

小国郷大根部会副部会長の

佐 27

由

孝さんの圃場で行われまし

レビ番組

[Do You

のうぎょう?

農業の多面的な役割を伝えるテ

(熊本朝日放送)

の取材が9月







月10日、

11人が参加して旬の野菜を

た料理講習会を開きました。

当

分から放送されました。

録された番組は10月11日午後7

阿蘇大根をPRしました。

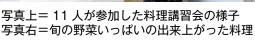
当日収

小国ダイコンはおいしいよ~」

と

理 次回は正 く頂きました。 定です。 行わ 講習 れる 一会が 月 久





は皆で美味 ヤとミョウガのさっぱり煮」など 日のメニューは がった料 出 理 来 |生姜ご飯| や |ゴ

上 6

밆

で、

旬の野菜で料理講習会 女性部小国郷支部

取材を受ける佐藤さん(写真上・中)、アグちゃんグリくんと記念撮影(写真下)

A阿蘇女性部小国郷支部では

内装工

事

(カー

テン・クロスの貼り

替え、

床張り等

平成25年10月1日(火)~平成25年11月30日(土)

消 外装工事 費税が上がる前に、リフォームを考えてみませんか? (外壁・外壁塗装・エクステリア等)



瓦 I 事 (瓦葺替・屋根塗り 等



水廻りの工事の事なら JA HOUSE にご相談ください!!



バリアフリーの事なら JAHOUSE にご相談ください!!



(八代産畳)

畳の表面は二酸化窒素ガス を吸収する作用があります。 知らず知らずのうちに室内 の空気を浄化し、健康的な 環境を作り出します。



リフォーム特典

○工事金額100万円以上で<mark>2万円分</mark>
○工事金額200万円以上で<mark>5万円分</mark>

さい ロボット掃除機が

※キャンペーン期間中の情報物件で、平成26年3月31日までの完工物件とする。

最寄りのJA_{または} JA HOUSE

(株)エーコープ熊本 住宅事業部

〒860-0085 熊本市北区高平2丁目25番57号 tel:096-344-6340 fax:096-344-6397

打ち合わせからアフターサービスまでJA HOUSEが責任を持って対応致します。

ホームページ JA HOUSE

検索 🗸

~税務署からのお知らせ~

平成 26 年 1 月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

- ▶事業所得等を有する白色申告の方に対する現行の記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。
 - ※現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象者は、白色申告の方のうち前々年分あるい は前年分の事業所得等の金額の合計額が300万円を超える方です。

平成 26 年 1 月からの記帳・帳簿等保存制度

◎対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行なう全ての方です。 ※所得税の申告が必要でない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

◎記帳する内容

売り上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について、取引の年月日、 売上先・仕入先その他の相手方の名称、金額、日々の売上げ・仕入れ・経費の金額 等を帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記帳するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

◎帳簿の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

【帳簿・書類の保存期間】

保存が必要なもの		
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿(法定帳簿)	
	業務に関して作成した上記以外の帳簿(任意帳簿)	
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、 領収書などの書類	5年

税務署が実施する「記帳説明会」等については、最寄りの税務署の所得税担当までお問い合わせください。

阿蘇税務署(電話 0967-22-0551) ※自動音声案内に従い、「2」番を選択してください。

●JA阿蘇青色申告会より白色申告のみなさまへ

税法上さまざまな特典(65万控除・10万控除等)を受けられる「青色申告」をはじめてみませんか?

面倒な事務処理のお手伝いを J A の青色申告会が致しますのでご安心ください。

※お問い合わせは下記の青色申告会事務局へ

JA阿蘇青色申告会(本所 営農部) TEL:0967-22-6115

JA阿蘇「各種ローン」のご案内

ローン名	資金使途		
住宅 固定変動選択型 固定期間3年 固定期間5年 固定期間10年	○住宅の新築○土地の購入(5年以内に新築予定)○新築住宅の購入(土地付き住宅、分譲マンション含む)○中古住宅の購入(土地付き住宅、分譲マンション含む)○住宅の増改築・改装・補修○他金融機関等の住宅ローンからの借換		
リフォーム	○既存住宅の増改築・改装・補修資金及び付帯する施設等の住宅関連設備資金[エコプラン]○太陽光発電システム、オール電化等のエコ設備資金及び設備設置に伴う住宅の増改築・改修・補修資金		
マイカー	○自動車・バイクの購入資金及び付帯する諸費用○車検・点検・修理・保険掛金○運転免許の取得費用○車庫建設費用(借入額は100万円以下)○他金融機関等の自動車資金の借換		
農機・ハウス	○農機具購入(農業用自動車・中古農機具等を含む)・点検修理等費用、 及び付帯する諸費用 ○パイプハウス等資材、建設費用 ○格納庫建設資金		
教育	○就学される子弟の教育に関する資金とし、資金使途の確認ができるもの (例)入学金・授業料・アパートの家賃(1年以内に要するもの)		
クローバ	○生活に要する一切の資金とし、使途が確認できるもの ただし、負債整理資金、営農資金、事業資金は除く		

※リフォームローンとクローバローンにつきましては、JAとの取引状況により金利優遇を受けられます。
※住宅ローンにつきましては、別途優遇金利があります。

詳しい内容(金利、借入期間、借入額等)については、各支所の貸付担当にお尋ね下さい。



*

支部活動をしていく予定です。

(写真右=うちわ作りに参加した皆さん)

*

家の光』活用で暮らしに彩 鮮やかな色紙で「野菜うちわ



*

*

*

*

*

*

*

牛乳を使って、 です。 と氷 で手軽に出来るアイスクリー 付けるだけで、 野菜や果物の形に切り取って貼り うちわ」は、 8月9日 わ作り」をしました。この 『家の光』7月号掲載の 作りもしました。同支部では今 A阿蘇女性部南阿蘇支部では 『家の光』の記事を活用して、 また、当日は阿蘇ジャージー 支部役員11人が参加し 色紙を自分の好きな 攪拌器を使わず塩 簡単に出来るもの 「野菜うち 「野菜

*

*

*

*

* *

*

*

*

「着物を身近に感じてほしい!」 南部地区でJA阿蘇着物まつり

の来場者で賑 催され、多く 中央支所で開 JA阿蘇白水 物まつり」が 5 わいました。 JA阿蘇着 9月1日、 8月31日か

支部長 多く並びました。オープニングセ は七五三や成人式などの着物が数 の良さを知ってほしい」と挨拶。 会を機会にして着物に触れ、 ことが少なくなりましたが、 部南部地区を代表して宮崎ヒサ子 レモニーでは、同企画共催の女性 (写真=右) が「着物を着る 当日、会場に

知りたい」など も着物のことを 会を通し少しで 機会が少ないので、こういう展示 ていました。 声が寄せられ 来場者も「着物を身近に感じる

0)

が出来、いろんな体験が出来て良かっ 少しでも地域の方々と触れ合うこと

参加した生徒からも「農業体験

た」と感想を述べていました。

*

*

*

地域産業の核 「農業」を学ぶ

が総 28 日、 業について学びました。 JA阿蘇南部野菜センターに8 合学習の時間を利用 地元の長陽中学校1年生35人 地 元農 月

おり、 けました。 いてもJAの担当職員から説明を受 いる農業体験学習の予習も含まれ この学習会には9月に予定され 当日は阿蘇地域の農産物につ

とか べている農作物がどうやって生産さ ではないか…」と話していました。 れ出荷されていくのか学習できたの 農業体験学習を通して、自分達が食 ですか」など質問が出されていました。 獣害の被害はどれくらいありますか」 ていました。また、生徒からは めされて出荷されていく一連の流 では、色や形などで選別がされ箱詰 特産のトマトを選果する施設見学 対応した後藤真智職員は 生徒らは真剣な眼差しで見つめ 「農業の一番大変なところは何 「実際の 鳥



トマトの選果について説明を聞く中学生



地域農業について説明を聞く中学生

元気はつらつ! 年金友の会 ゲートボール・グラウンドゴルフ大会



に閉会となりました。皆さんお疲

なく晴天にも恵まれ、盛況のうち

れさまでした。

グラウンドゴルフ大会上位入賞者

JA県親善野球大会 JA阿蘇、決勝トーナメント

進出ならず

出できませんでした。 園で行われ、JA阿蘇からは6月 惜しくも決勝トーナメントには進 に勝利し1勝1敗となりましたが れ、第2試合では「JAあしきた」 前年度優勝の「JAたまな」に敗 とになり、JA阿蘇は第1試合で 本年度より予選リーグ戦を行うこ 陽チームが出場しました。試合は に行われた阿蘇大会で優勝した長 会が7月27日、 第38回JA熊本県親善野球大 県民総合運動公

トボール優賞の蘇陽 Bチ

年に期待します! 業務終了後の練習で選手の皆さ 本当にお疲れさまでした。来

阿蘇市の農村公園あぴかで行われ JA役職員ら約330人が参加し、

フ大会」が9月14日、友の会会員・

ゲートボール・グラウンドゴ

ル

第13回JA阿蘇年金友の会

ました。開会式で宮崎弘昭副会長

「一昨年は悪天候、

昨年は集中

豪雨のため中止となり本年無事開

選手とそれぞれでしたが、けがも た」と挨拶。開会式後、全員で準 催できるのを待ち望んでいまし 揮している選手、うまくいかない た。日頃の練習の成果を存分に発 備体操をして競技開始となりまし 久木野支部笠野光子選手 =小国支部佐藤章選手、 ▽グラウンドゴルフ大会=優賞 成績は左記のとおり。

蘇町支部今町3チーム、 阿蘇町支部尾ヶ石チーム 陽支部蘇陽Bチーム、準優勝= 第3位

= 白水支部後藤秀一選手、準優勝 ▽ゲートボール大会=優賞=蘇 第3位 呵 \parallel

JA阿蘇代表の「長陽チーム」

楽しい一日を過ごしました。 個人賞では、河津美智枝職員が「殊 れ勝ち進むことが出来ませんでした。 出。しかし、JA菊池に惜しくも敗 は3戦全勝で決勝トーナメントに進 まるごと阿蘇D(南部地区)は惜し 阿蘇A (阿蘇町)、まるごと阿蘇C、 には、県下JA・連合会15団体37 の宮)チームの宮川理沙職員が力強 勲賞」を受賞し、参加者の皆さんは したが、まるごと阿蘇B(小国郷 くも決勝トーナメント出場を逃しま 選リーグ戦を行いました。まるごと チームが出場して、9ブロックで予 い選手宣誓を行いました。同大会

係上、次ページに掲載しています。※出場したチームの写真は紙面の関

さんもお疲れさまでした。

目指し頑張ってください。応援の皆 は大変でしたが、来年こそは優勝を

業務終了後の練習で選手の皆さん

JA県親善ソフトバレーボール JA阿蘇から4チーム出場

は予選大会の上位4チーム29人の選 グまつばせで開かれ、JA阿蘇から レーボール大会が9月7日、ウイン 手が出場しました。 第38回JA熊本県親善ソフトバ

開会式では、まるごと阿蘇C

最優秀賞を受賞した古澤選手

開かれ、 イブウェ セ熊本で 城本選手が総合印象賞に輝く 古澤選手がフルサービスで最優秀賞 9 月3 イコンテスト県大会」 日 JA阿蘇久木野SSの古 第36回 JA-SSド 益城町のグランメ

JAドライブウェイコンテスト

澤正

剛

選

手が

フ ル パサー

ビス部

が ラ ッ

抜 b

総合印象賞の城本選手

ビスの2部門で競技を行いました。 恭兵選手が総合印象賞に輝きまし 古澤選手は 営の強化を狙い毎年行われて フの接客・点検・ 個 いた21人ががフルとセルフサ 0) 人の 本大会は、 部 今年も各地区の予選を勝 「県大会ということで で最優秀賞に、 JA-SSスタ 技術の 向上と経 いる 城

块龙 7 污器

恭

Ę

岡川



写真上=ドライブウェイC県大会出場の選手と応援の皆さん 写真下=同地区大会出場選手と応援の皆さん

ソフトバレーに出場したチームの皆さん





本文記事は前ページに掲載。写真上より「まるごと阿蘇A」「まるごと阿蘇B」「まるごと阿蘇C」「まるごと阿蘇D」の各チーム





方、 地 これからの業務に活かしていきた 感謝の気持ちを述べ、 導して頂いた方、 でき大変嬉しく思っています。 集中出来ました。 11 てきたという自信があり競技には ⁻とても楽しく競技することが出 です」と喜びを語りました。 ました。 区大会とはまた違う緊張を味 ありがとうございました」 い経験ができ、この経験 しかし、 応援して頂 最優秀賞を獲得 やることはや 城本選手も いた 指

JA 阿蘇争奪学童わんぱく野球「一の宮マリンズ」3 年連続優勝

JA 阿蘇主催の「第7回 JA 阿蘇争奪学童わんぱく野球大会」が9月28日、阿蘇市の一の宮総合運動公園で行われ、阿蘇郡市内の7チームが熱戦を繰り広げました。

JA 阿蘇の笹原専務の開会挨拶の後、選手を代

表して「一の宮マリンズ」主将の渡辺航希君が元気に選手宣誓、晴天にも恵まれ、試合は順調に行われ一の宮マリンズが3年連続で優勝、準優勝には阿蘇西イーグルスが輝きました。



3年連続優勝の「一の宮マリンズ」



準優勝の「阿蘇西イーグルス」

「まるごとあそっ子スクール」8月2~3日、西原村の風の里でキャンプ

「まるごとあそっ子スクール」の子供たち(参加者)22人が8月2~3日、西原村の風の里でキャンプ体験をしました。1日目は各組ごとに旗作りを行い、「まいぎり式火起こし器」で火起こしをしました。そして、今回初めての試みの「アウトドアアイスクリーム作り」をしました。牛乳・卵・砂糖などの材料をビニール袋に入れて、この袋を氷と塩を入れたビニール袋に入れて混ぜると、市販のアイスと変わらないおいしいアイスクリームが出来上がりました。夕食後はキャンプファイヤ

ーがあり、"山伏"が現れ愉快なパフォーマンスで火をつけると、あそっ子から歌声があがりました。ミニコンサートや食と農に関する寸劇も披露され、みんなのヒーロー"ちゃぐりん"やご当地戦隊"アソルンジャー"が登場すると、一段と盛り上がりました。

2日目は"ちゃぐりん体操教室"後、「アウトドアパン作り体験」をしました。昼食では「そうめん流し」があり、そうめんと一緒にミニトマトやゼリーも流れてきて、みんな大喜びでした。





______ 盛り上がった キャンプファイヤー



理事会・監事会報告

■平成25年度第7回理事会

日時 平成25年8月30日午後1時30分/一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

- 7月末実績について
- 1) 住宅ローン優遇金利の施策について
- 2) 慶弔慰金 (組合員) の改正について
- 3) 貸出金について
- 4) 農産物検査業務規程の改正について
- 5) 平成25年度産米仮渡金 (案) について
- 6) 役員等定数検討について
- 報告事項
- 1) 平成25年度内部監査実施状況報告書について
- 2) 平成25年度上期決算棚卸監査実施要領について
- 3) 上期決算棚卸休業について
- 4) 土日事故受付件数について
- 5) コンプライアンス意向調査アンケート結果について
- 6) 不祥事再発防止策取組状況 (7月分) 報告書について
- 7) 不祥事再発防止策 (取組期間平成25年9月以降) について
- 8) 理事会日程変更について
- 4. 閉会

■平成25年度第8回理事会

日時 平成25年9月25日午後1時30分/一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項

委員会報告 (総務委員会)

- 8月末実績について
- 1) JAバンクローンの金利変更 (案) について
- 報告事項
- 1) 平成25年度上期決算におけるATM運用の取扱について
- 2) 家の光特別推進について
- 3) 平成25年度米検査員及び担当職員の配置について
- 4) 2013 J A 阿蘇総合展示会実施要領について
- 5) JA阿蘇まるごと阿蘇ウォ―キングについて
- 6) 夏得キャンペーン実績について
- 7) 不祥事再発防止策取組状況 (8月分) 報告書について
- 8) 25年産 J A 阿蘇米概算金について
- 4. 閉会

●平成25年度第5回監事会

日時 平成25年8月20日午後1時30分/本所2階第1会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題
- 1) 平成24年度決算監事監査回答書について
- 2) 平成25年度上期決算棚卸監査要領(案) について
- 3) 平成25年度米麦等棚卸監事監査とりまとめについて
- 4) その他
- ①平成25年度上期決算監事監査日程について
- ②不祥事再発防止策 内部監査実施状況報告書 (平成25年3月~7月)
- ③非常勤監事研修会の開催について

報告事項

①常勤監事業務報告について (7月)

常勤監事日常監査報告について(7月)

常勤会議報告について(第9回)

- ②行事予定について
- 4. 閉会

●平成25年度第6回監事会

日時 平成25年9月20日午後1時30分/本所2階第1会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題
- 5) 平成25年度上期決算監事監査について
- 6) 第2回常勤理事・監事定例会議開催について

報告事項

①常勤監事業務報告について (8月)

常勤監事日常監査報告について(8月)

- ②常勤会議報告について(第11回、12回)
- ③平成25年度全国 J A常勤監事研修会報告
- ④平成24年度JA決算状況調査集計表
- ⑤行事予定について
- 4. 閉会



JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏	名	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
伊藤	正之	一の宮農機具センター長	平成25年8月13日	阿蘇町農機車輌センター農機具主任
本田	貴裕	小国郷中央支所購買課農機センター係	平成25年9月1日	小国郷中央支所購買課小国郷給油所係
三苫	真弓	営農部営農企画課生活係小国地区担当	平成25年10月1日	総務部総務人事課総務人事係
堀	克史	阿蘇町農機車輌センター農機具係	平成25年10月1日	阿蘇町農機車輌センター車輌係
田畑	勇人	高森中央支所金融共済課金融共済係	平成25年10月1日	高森中央支所購買課購買係



